

新会員紹介 (正会員)

日立エナジージャパン株式会社



代表取締役 中尾 紀芳

(2024年5月入会)

【会社概要】

会社名 日立エナジージャパン株式会社
代表者 代表取締役 中尾 紀芳
設立 2019年7月1日
資本金 3億5000万円
従業員数 約200名
本社 〒141-6022 東京都品川区大崎 2-1-1
ThinkPark Tower 22F
事業分野 ・グリッドインテグレーション
・グリッドオートメーション
・ハイボルテージプロダクツ
・変圧器
U R L <https://www.hitachienergy.com/jp/ja>

【事業概要】

当社は、2019年に日立製作所における送配電設備の事業と、スイス・チューリッヒに本社を置くABBのパワーグリッド事業を融合し誕生した日立エナジー（旧日立 ABB パワーグリッド）の日本法人として設立されました。

現在は、前身企業を通して1954年から開発・導入を進めているHVDC*（高圧直流送電）システムをはじめ、送配電網の制御機器、超高電圧製品、変圧器などをお客さまに提供しており、以下四つの事業を通じて、今日の電力安定供給と脱炭素エネルギーの拡大を支えています。

* HVDC : High Voltage Direct Current

1. グリッドインテグレーション事業

システムエンジニアリングから機器調達納入まで幅広くカバーしています。

HVDC、変電所、フレキシブル交流送電システムなどの電力品質分野、パワー半導体など、直流と交流に関するシステム・ソリューション・サービスを提供しています。ならびに、昨今需要が増加している再生可能エネルギー、送配電、eモビリティソリューションなど、エネルギーシステムの主要セグメント向けのコンサルティングにも対応しています。

2. グリッドオートメーション事業

変電所の自動化、通信ネットワーク、グリッドオートメーションサービス、グリッドエッジソリューションからエンタープライズソフトウェアソリューションまで、多岐にわたる包括的なソリューションを提供しています。

これらのソリューションにより、発電、送配電、産業、交通、社会インフラなど、エネルギーシステムに関連する全ての主要なセグメントにおける重要なシステムの最適化を可能にします。

3. ハイボルテージプロダクツ

超高電圧技術におけるリーディング企業の一つとして、交流1200kV、直流1100kVまでの超高電圧製品を幅広く提供しています。当社は開閉器、遮断器、発電機用遮断器、キャパシタ、避雷器、断路器、計器用変成器、およびこれら機器へのサービスなどの主要製品を通して、環境への影響を最小限に抑えながら、電力網の安全性、信頼性、効率性の向上に貢献します。

主な超高電圧製品ポートフォリオには、アクティブ技術を活用した電力品質製品とバッテリーエネルギー貯蔵装置、環境性に優れた開閉装置、デジタル発電機用遮断器、ハイブリッド型開閉装置およびガス絶縁開閉装置が含まれます。超高圧送電、柔軟なスマートグリッドの実現、環境効率の向上などの分野におけるイノベーションを推進し続けています。

4. 変圧器事業

電力用変圧器、車両用変圧器、絶縁体・変圧器構成部品、デジタルセンサー、および変圧器への保守・サービスを提供しています。日本や世界各国に対して発電用途、送配電用途、金属・鉱業用途、石油・ガス用途、商業・産業用途、モビリティ用途に至るまで、あらゆる変圧器を提供しています。

昨今、電力網の複雑化に伴い、電力品質の向上や電力系統管理を目的とした変圧器の使用が増加しています。さらに、システムの複雑化に伴い、変圧器においてもデジタル化が求められていることから、当社では変圧器のデジタル化を実現するTXpert™エコシステムを提供しています。

日立エナジーは、今後もお客さまやパートナーの皆さまと共に、日本と世界で、より持続可能、より柔軟、より安心・安全なエネルギーシステムを構築する取組みを進めてまいります。



HVDC light® バルブホール



系統制御システム